



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月13日

上場会社名 株式会社 ケアネット
 コード番号 2150 URL <http://www.carenet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大野 元泰
 (氏名) 諸橋 吉郎

TEL 03-5214-5800

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	717	△3.4	△139	—	△139	—	△140	—
25年3月期第2四半期	742	△1.5	△65	—	△78	—	△79	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△27.14	—
25年3月期第2四半期	△15.33	—

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	1,111	916	82.5	176.68
25年3月期	1,376	1,097	79.8	210.94

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 916百万円 25年3月期 1,097百万円

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	300.00	300.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成25年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,960	10.9	110	116.4	115	112.2	103	88.9	19.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、上記の業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,287,500 株	25年3月期	5,246,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	97,649 株	25年3月期	41,900 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,189,331 株	25年3月期2Q	5,200,100 株

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。
2. 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の「強い経済」を取り戻す方針のもと、日銀による大規模な金融緩和が実施され、これにより、円安是正、株価の回復が進み、景気回復の兆しが表れております。

医療業界においては、医療技術が日々進歩するなか、医師はより質の高い医療を求められております。一方で、未だ医師不足や医師の過重労働の問題は解決されておらず、多忙を極めております。

このような状況のもと、患者に質の高い医療を提供し続けるためには、医師が日頃から医療情報の収集や学習を欠かさないことが重要であり、限られた時間のなかで効率よく習得できるコンテンツサービスに高いニーズがあります。

一方、製薬業界においては、ジェネリック医薬品の使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、昨年に実施された薬価改定において、長期収載医薬品の薬価追加引下げが実施されるなど、依然 製薬企業の収益環境は厳しい状況にあります。そのため、製薬企業においては、新薬の研究開発や営業・マーケティング活動における生産性向上が重要視されております。

このような背景のなか、当社は、特に製薬企業が抱える営業・情報提供活動の課題解決を事業機会と促え、積極的に対応しております。製薬企業の生産性向上に資する厳選したサービスとして、「MR P l u s[®]」を主力サービスとして位置づけ、提供することによりプライマリケア領域の大型薬剤からスペシャリティ領域で上市が続いている新薬まで、幅広い領域でマーケティング活動のより効率の高い支援を行っております。

これらの活動を行うなか、当第2四半期累計期間においては、売上高は717百万円（前年同四半期比3.4%減）、売上総利益は395百万円（前年同四半期比17.3%減）、営業損失は139百万円（前年同四半期は営業損失65百万円）、経常損失は139百万円（前年同四半期は経常損失78百万円）となりました。これらの結果、四半期純損失は140百万円（前年同四半期は四半期純損失79百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 医薬営業支援サービス

当サービスにおいては、「MR P l u s[®]」の売上高は330百万円（前年同四半期比45.5%増）、「スポンサードWebコンテンツ制作」の売上高は91百万円（前年同四半期比31.9%減）となりました。

この結果、医薬営業支援サービスの売上高は516百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

② マーケティング調査サービス

当サービスにおいては、「eリサーチ[™]」の実施件数が30件（前年同四半期は41件）となりました。

この結果、売上高は78百万円（前年同四半期比33.0%減）となりました。

③ 医療コンテンツサービス

当サービスにおいては、医師向け教育コンテンツ「ケアネットDVD」の売上高は57百万円（前年同四半期比6.7%減）、医療教育動画サービス「C a r e n e T V」の売上高は64百万円（前年同四半期比41.1%増）となり、医療コンテンツサービスの売上高は122百万円（前年同四半期比13.7%増）となりました。

なお、平成25年7月から、インターネットによる動画配信サービス「医楽座」のサービス名称を、医療教育動画サービス「C a r e n e T V」に変更しております。

また、医師・医療従事者向け医療専門サイト「ケアネット・ドットコム (CareNet.com)」においては、医師会員獲得および維持を目的に、前期に引き続き積極的に投資を行っております。これにより、当第2四半期累計期間末の医師会員数は11万6千人（前年同四半期は11万人）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

文中における将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において入手し得る情報に基づいて当社が判断したものであります。なお、今後の予測しえない経済状況の変化等様々な要因があるため、その結果について当社が保証するものではありません。

① 経営成績および財政状態を分析する上での視点

当社は、主として、次の3つの視点から経営成績および財務状態を分析しております。

- a. 成長性の視点：当社の中心的なサービス「MR P l u s[®]」の成長性
- b. 収益性の視点：売上総利益率、および 営業利益率等の改善状況
- c. 健全性の視点：流動性を初めとする財務基盤や資金調達能力に資する要因

② 成長性

当社は、医師会員の協力を得ることにより、製薬企業向けに「医薬営業支援サービス」および「マーケティング調査サービス」を提供し、一方 医師会員の獲得を目的に医師に向けて「医療コンテンツサービス」の提供を行っております。これらサービス別の売上高と売上構成比の推移の状況は、次のとおりであります。

回次	第15期		第16期		第17期		第18期		第18期 第2四半期 累計期間		第19期 第2四半期 累計期間	
	平成22年3月		平成23年3月		平成24年3月		平成25年3月		平成24年9月		平成25年9月	
決算年月	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)
医薬営業支援サービス	1,499	69.0	981	60.2	1,103	69.3	1,262	71.5	517	69.8	516	72.1
e ディテリング [®]	794	36.5	715	43.9	479	30.1	183	10.4	147	19.9	2	0.3
MR P l u s [®]	—	—	—	—	262	16.5	675	38.2	227	30.6	330	46.2
スポンサードWeb コンテンツ制作	638	29.4	200	12.3	299	18.8	364	20.6	133	18.0	91	12.7
その他	66	3.1	65	4.0	61	3.9	38	2.3	9	1.3	92	12.9
マーケティング調査 サービス	259	11.9	249	15.3	259	16.3	226	12.8	116	15.7	78	10.9
e リサーチ [™] 他	259	11.9	249	15.3	259	16.3	226	12.8	116	15.7	78	10.9
医療コンテンツサービス	415	19.1	398	24.5	230	14.4	277	15.7	107	14.5	122	17.0
CareNetTV・ メディカルCh. [®]	203	9.3	180	11.1	—	—	—	—	—	—	—	—
C a r e n e T V	—	—	—	—	57	3.6	99	5.6	45	6.2	64	9.0
ケアネットDVD他	212	9.8	217	13.4	172	10.8	178	10.1	61	8.3	57	8.0
合計	2,173	100.0	1,629	100.0	1,593	100.0	1,766	100.0	742	100.0	717	100.0

(ア) 成長性の鍵となる医師会員数について

回次	第15期		第16期		第17期		第18期		第18期 第2四半期 累計期間		第19期 第2四半期 累計期間	
決算年月	平成22年3月		平成23年3月		平成24年3月		平成25年3月		平成24年9月		平成25年9月	
	前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同四半 期比(%)		前年同四半 期比(%)	
医師会員数(千人)	95	+8.1	100	+5.4	106	+5.9	113	+6.5	110	+8.5	116	+5.2

当第2四半期累計期間において、医師会員数は約3千人増加し、当第2四半期累計期間末の医師会員数は11万6千人(前年同四半期末は11万人)となりました。当社は、医師会員の増加が「MRP1us[®]」の各サービスの品質を高め、売上高を伸ばす要素であると考えております。

なお、この点を示す指標については、下記「(イ)「MRP1us[®]」の売上高の成長について」のとおりであります。

(イ) 「MRP1us[®]」の売上高の成長について

回次	第15期		第16期		第17期		第18期		第18期 第2四半期 累計期間		第19期 第2四半期 累計期間	
決算年月	平成22年3月		平成23年3月		平成24年3月		平成25年3月		平成24年9月		平成25年9月	
	前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同四半 期比(%)		前年同四半 期比(%)	
「MRP1us [®] 」												
売上高(百万円)	—	—	—	—	262	—	675	+157.3	227	+54.4	330	+45.5
実施企業数(社)	—	—	—	—	2	—	11	+450.0	5	+150.0	9	+80.0

(注) 第18期までは、「eディテリング[®]」および「MRP1us[®]」の売上高合計の成長についてを指標としておりましたが、主力サービスを、「eディテリング[®]」から「MRP1us[®]」へと移行したため、第19期より「MRP1us[®]」の売上高のみを指標としております。

当第2四半期累計期間において、「MRP1us[®]」の実施企業数は9社(前年同四半期比80.0%増)となり、売上高は330百万円(前年同四半期比45.5%増)となりました。

今後も、「MRP1us[®]」のさらなる販売拡充に努め、売上高を伸ばしてまいります。

③ 収益性

回次	第15期		第16期		第17期		第18期		第18期 第2四半期 累計期間		第19期 第2四半期 累計期間	
決算年月	平成22年3月		平成23年3月		平成24年3月		平成25年3月		平成24年9月		平成25年9月	
売上総利益率(%) (注) 1	33.9	(12.1%減)	54.0	(20.1%増)	58.6	(4.6%増)	64.1	(5.5%増)	64.5	(7.0%増)	55.2	(9.3%減)
販売費及び一般管理費 比率(%) (注) 2	40.4	(2.4%増)	77.6	(37.2%増)	75.8	(1.8%減)	61.2	(14.6%減)	73.4	(4.4%減)	74.7	(1.4%増)
営業利益または営業損失 (△)(百万円)	△140	(-)	△383	(-)	△273	(-)	51	(-)	△65	(-)	△139	(-)
営業利益率(%) (注) 3	△6.5	(14.5%減)	△23.6	(17.1%減)	△17.2	(6.4%増)	2.9	(20.0%増)	△8.8	(11.4%増)	△19.5	(10.7%減)

(注) 1 売上総利益率は、売上総利益を売上高で除して算出しております。

2 販売費及び一般管理費比率は、販売費及び一般管理費を売上高で除して算出しております。

3 営業利益率は、営業利益を売上高で除して算出しております。

4 表中の()書きは、前年同期比であります。

当第2四半期累計期間は、売上高717百万円(前年同四半期比3.4%減)、売上総利益率は55.2%(前年同四半期比9.3ポイント悪化)、販売費及び一般管理費比率は74.7%(前年同四半期比1.4ポイント悪化)となり、営業損失は139百万円(前年同四半期は営業損失65百万円)、営業利益率は△19.5%(前年同四半期は△8.8%)となりました。

④ 健全性

回次	第15期	第16期	第17期	第18期	第18期 第2四半期 累計期間	第19期 第2四半期 累計期間
決算年月	平成22年3月	平成23年3月	平成24年3月	平成25年3月	平成24年9月	平成25年9月
総資産額(百万円)	2,286	1,823	1,350	1,376	1,201	1,111
純資産額(百万円)	1,999	1,524	1,045	1,097	965	916
自己資本比率(%)	87.3	83.4	77.2	79.8	80.1	82.5
現金及び現金同等物 (百万円)	402	500	354	890	382	655
営業活動によるキャッシ ュ・フロー(百万円)	△69	△198	△307	50	△55	△168
流動比率(%) (注) 1	732.0	517.1	405.2	455.7	469.0	524.4
流動資産比率(%) (注) 2	91.7	79.7	86.7	86.9	85.9	84.3
有利子負債残高 (百万円)	—	—	—	—	—	—

(注) 1 流動比率は、流動資産合計額を流動負債合計額で除して算出しております。

2 流動資産比率は、流動資産合計額を総資産額で除して算出しております。

当第2四半期会計期間末時点での現金及び現金同等物残高655百万円、自己資本比率82.5%の水準、および有利子負債残高なしの各指標から健全性を確保していると判断しております。

⑤キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前事業年度末と比較して235百万円減少し、655百万円(前事業年度末比26.4%減)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により支出した資金は、168百万円(前年同四半期は55百万円の支出)となりました。これは、主に売上債権の減少31百万円、減価償却費14百万円などによる資金の増加と、税引前四半期純損失139百万円の計上、仕入債務の減少16百万円、未払費用の減少15百万円などによる資金の減少との差引きによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、30百万円(前年同四半期は86百万円の収入)となりました。これは主に自社利用ソフトウェア開発等による支出25百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、39百万円(前年同四半期は0百万円の支出)となりました。これは、新株式の発行による収入10百万円と、自己株式の取得による支出35百万円および配当金の支払いによる支出15百万円との差引きによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期第2四半期累計期間個別業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表しました業績予想と差異が生じております。詳細は平成25年11月13日公表の「平成26年3月期第2四半期累計期間個別業績予想との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成26年3月期通期個別業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	890,771	655,410
売掛金	271,722	240,465
たな卸資産	※1 13,975	※1 18,391
前払費用	18,782	20,145
その他	551	2,602
流動資産合計	1,195,803	937,015
固定資産		
有形固定資産	24,107	22,032
無形固定資産	52,632	50,819
投資その他の資産	※2 103,531	※2 101,643
固定資産合計	180,271	174,496
資産合計	1,376,074	1,111,511
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,908	39,447
未払法人税等	7,005	5,415
前受金	19,600	16,918
ポイント引当金	41,869	46,286
その他	138,016	70,609
流動負債合計	262,399	178,677
固定負債		
繰延税金負債	2,998	2,851
資産除去債務	12,940	13,043
固定負債合計	15,938	15,894
負債合計	278,338	194,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	591,821	597,072
資本剰余金	471,877	477,127
利益剰余金	54,747	△101,720
自己株式	△20,865	△55,868
株主資本合計	1,097,581	916,611
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	154	328
評価・換算差額等合計	154	328
純資産合計	1,097,736	916,939
負債純資産合計	1,376,074	1,111,511

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	742,039	717,107
売上原価	263,307	321,191
売上総利益	478,731	395,915
販売費及び一般管理費	*1 544,358	*1 535,791
営業損失(△)	△65,627	△139,876
営業外収益		
受取利息	442	454
為替差益	—	4,703
未払配当金除斥益	924	—
その他	635	1,467
営業外収益合計	2,002	6,625
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	8,577	5,756
為替差損	5,906	—
その他	0	190
営業外費用合計	14,484	5,947
経常損失(△)	△78,108	△139,199
税引前四半期純損失(△)	△78,108	△139,199
法人税、住民税及び事業税	1,900	1,900
法人税等調整額	△291	△243
法人税等合計	1,608	1,656
四半期純損失(△)	△79,716	△140,855

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△78,108	△139,199
減価償却費	12,948	14,115
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△8,743	4,417
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,577	5,756
受取利息及び受取配当金	△445	△458
為替差損益(△は益)	5,906	△4,703
売上債権の増減額(△は増加)	56,751	31,257
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,765	△4,416
仕入債務の増減額(△は減少)	△24,199	△16,461
未払金の増減額(△は減少)	△28,476	△13,067
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,364	△23,257
未払費用の増減額(△は減少)	△13,794	△15,716
前受金の増減額(△は減少)	2,103	△2,681
その他	△5,186	△711
小計	△53,535	△165,124
利息及び配当金の受取額	1,717	880
法人税等の支払額	△3,800	△3,800
営業活動によるキャッシュ・フロー	△55,617	△168,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△165	△1,020
無形固定資産の取得による支出	△12,784	△25,583
貸付けによる支出	—	△4,800
貸付金の回収による収入	—	1,000
差入保証金の差入による支出	△300	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	86,749	△30,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株式の発行による収入	—	10,501
自己株式の取得による支出	—	△35,002
配当金の支払額	△9	△15,079
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9	△39,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,290	2,668
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	27,831	△235,360
現金及び現金同等物の期首残高	354,917	890,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 382,748	※1 655,410

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年5月13日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得などにより自己株式は、当第2四半期累計期間において35,002千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が55,868千円となっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1 前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サービ ス	マーケテ ィング 調査サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	517,909	116,635	107,493	742,039	—	742,039
セグメント間の 内部売上高または 振替高	—	—	—	—	—	—
計	517,909	116,635	107,493	742,039	—	742,039
セグメント利益 または損失(△)	144,122	78,563	△1,357	221,328	△286,955	△65,627

(注) 1 セグメント利益の調整額△286,955千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益または損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2 当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サービ ス	マーケテ ィング 調査サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	516,764	78,128	122,214	717,107	—	717,107
セグメント間の 内部売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	516,764	78,128	122,214	717,107	—	717,107
セグメント利益 または損失(△)	116,497	42,608	△21,962	137,143	△277,020	△139,876

(注) 1 セグメント利益の調整額△277,020千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益または損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
製品	4,613千円	5,542千円
仕掛品	8,741	12,136
貯蔵品	620	711

※2 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
投資その他の資産	14,604千円	20,361千円

(四半期損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与手当	207,138千円	197,290千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	782,748千円	655,410千円
預金期間が3カ月を超える定期預金	△400,000	—
現金及び現金同等物	382,748	655,410